

平成27年度 飛騨市決算報告

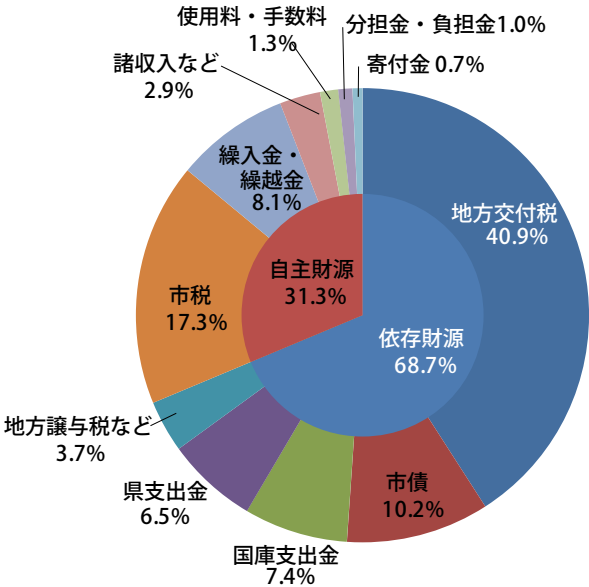
飛騨市の平成27年度決算が9月市議会において認定されました。

市民の皆さんから納められた市税や国・県からの支出金をどのくらい収入し、どのように使われているか、市の財政状況についてお知らせします。

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	実質単年度収支
一般会計	199億6,839万円	184億2,497万円	4億4,358万円
特別会計	87億3,960万円	85億2,583万円	△1億2,408万円
企業会計	21億4,966万円	22億6,580万円	△1億1,614万円

* 企業会計には「実質単年度収支」という考え方がないため、歳入歳出差引額を記載しています。

● 一般会計歳入の内訳



歳入総額 199 億6,839 万円
〔市民一人当たり 79万円〕

歳入款名	決算額	構成比	対前年比
地方交付税	81億7,322万円	40.9%	△ 1.0%
市債	20億4,402万円	10.2%	12.7%
国庫支出金	14億8,461万円	7.4%	△ 3.1%
県支出金	12億9,062万円	6.5%	49.8%
地方譲与税など	7億4,333万円	3.7%	42.3%
市税	34億5,377万円	17.3%	0.5%
繰入金・繰越金	16億 837万円	8.1%	69.7%
諸収入など	5億6,359万円	2.9%	△ 6.6%
使用料・手数料	2億6,109万円	1.3%	0.3%
分担金・負担金	2億 546万円	1.0%	△ 24.3%
寄付金	1億4,032万円	0.7%	617.7%
計	199億6,839万円	100.0%	7.8%

【用語の説明】

地方交付税…………… 行政サービス水準確保のため国から交付されるお金
市債…………… 公共事業等の財源として国などから借り入れたお金
国庫・県支出金……… 特定の事業に対して国や県から交付されるお金
地方譲与税など……… 国税などから一定の基準により地方に配分されるお金
市税…………… 市民税や固定資産税など市に納める税金
繰入金・繰越金……… 基金の取り崩し、前年度から繰り越したお金
諸収入など…………… 財産の売却や貸付、その他の収入

* 表・グラフは表示単位で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

■ 決算の概況

平成27年度は、市が直面している人口減少を克服するため「飛騨市人口減少対策プラン」により、若い世代を積極的に応援する施策に力を入れるとともに、市民がいつまでも安心して暮らし、あらゆる世代の方々が希望を持って未来へと飛躍することを目指した予算執行に努めました。

一般会計の決算は、歳入199億6千839万円、歳出184億2千497万円となり、当該年度の実質的な収支を表す実質単年度収支は4億4千358万円となり、6年連続で黒字となりました。

特別会計全体では、実質収支は2億664万円、実質単年度収支は1億2千408万円の赤字となりました。

企業会計の営業活動を示す収益的収支は、水道事業が9千496万円の黒字、病院事業が2千509万円の赤字となりました。

市債現在高（借金）は339億9千874万円（対前年比△13億円）、基金現在高（貯金）は149億2千921万円（対前年比+8億円）となり、将来を見据えた堅実な財政運営を行っています。

■ 一般会計歳入の状況

歳入の大半を占める地方交付税のうち、普通交付税については市町村合併にかかる特例措置が段階的に縮減されることから大幅な減を懸念していました。が、ほぼ横ばいの73億6千898万円、特別交付税については、少雪による除雪経費の激減により0.9億円減の8億424万円でした。

県支出金は、建設事業や災害復旧事業の増加などにより、4.3億円増の12億9千62万円。

繰入金・繰越金は、土地開発基金の廃止編入（繰入）などにより、6.6億円増の16億837万円となりました。

この他、ふるさと納税に対する特産品お返し制度の充実を図ったことにより、がんばれふるさと応援寄付金が1.1億円増の1億2千608万円となりました。

今後も自主財源の確保に向けた積極的な取り組みを進めるとともに、将来にわたり健全財政を維持し、「元気で、あんな、誇りの持てる ふるさと飛騨市」の実現に向けた取り組みを推進します。

● 一般会計歳出の状況

▼ 目的別歳出

総務費は、土地開発基金の廃止に伴う財政調整基金への積み立てや、新たに設立した統合第三セクター(株)飛騨ゆいへの出資金、デジタル防災行政無線整備などにより、9.9億円増の29億9千282万円。

教育費は、神岡図書館移転整備事業等により、1.4億円増の11億9千736万円。

消防費は、消防救急デジタル無線整備事業の完了などにより、3.8億円減の6億5千870万円。

▼ 性質別歳出

普通建設事業費は、リサイクルセンターや消防救急デジタル無線整備の完了に伴い減となる一方、宮川振興事務所、神岡振興事務所整備事業の増により、全体で2.7億円増の27億7千700万円。

補助費等は入園・入学祝い金の創設やふるさと納税返礼品の充実、地域活性化交付金事業によるプレミアム商品券などの発行により、2.8億円増の14億4千314万円。

また、維持補修費は、記録的な少雪により市道除雪費が激減し、3.9億円減の2億4千433万円となりました。

歳出款名	決算額	構成比	対前年比
民生費	37億4,075万円	20.3%	8.1%
公債費	29億9,933万円	16.3%	1.0%
総務費	29億9,282万円	16.2%	49.4%
土木費	26億1,324万円	14.2%	8.5%
衛生費	14億9,405万円	8.1%	△ 10.2%
教育費	11億9,736万円	6.5%	12.8%
農林水産業費	11億1,068万円	6.0%	18.2%
商工費	9億8,753万円	5.5%	4.6%
消防費	6億5,870万円	3.6%	△ 36.3%
議会費・災害復旧費など	6億3,051万円	3.3%	50.2%
計	184億2,497万円	100.0%	9.0%

【用語の説明】

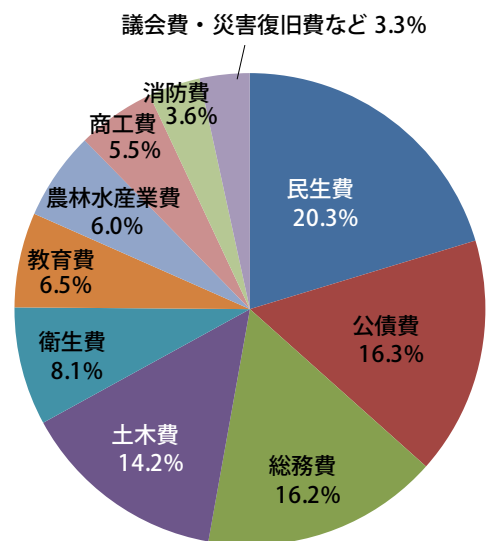
民生費……………子どもや高齢者、障がい者などの福祉対策に使われたお金
 公債費……………公共事業等の財源として借り入れたお金(市債)の返済
 総務費……………徴税や防災、戸籍など行政運営全般に関する様々なお金
 土木費……………道路や公園、市営住宅などの整備や維持管理に使われたお金
 衛生費……………健康管理やごみ・し尿処理などに使われたお金
 教育費……………小中学校の運営や文化・スポーツ活動の振興に使われたお金
 農林水産業費……………農林水産業の振興に使われたお金
 商工費……………民間企業の支援や観光振興に使われたお金

性質区分名	決算額	構成比	対前年比
人件費	24億6,138万円	13.4%	1.0%
扶助費	17億5,807万円	9.5%	1.3%
公債費	29億8,229万円	16.2%	1.5%
普通建設事業費	27億7,700万円	15.1%	10.7%
災害復旧事業費	5億 4万円	2.7%	79.1%
物件費	28億7,389万円	15.6%	15.3%
維持補修費	2億4,433万円	1.3%	△ 61.2%
補助費等	14億4,314万円	7.8%	24.2%
積立金	7億6,878万円	4.2%	121.3%
投資・出資・貸付金	5億1,583万円	2.8%	53.6%
繰出金	21億 24万円	11.4%	2.9%
計	184億2,497万円	100.0%	9.0%

【用語の説明】

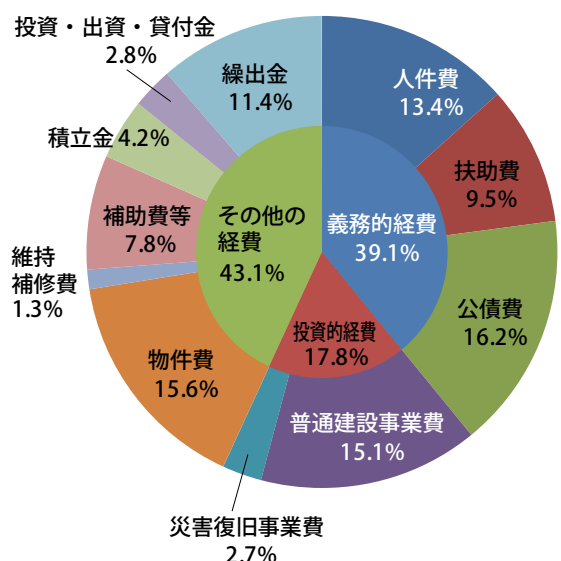
人件費……………市職員の給料・手当、議員・委員報酬など
 扶助費……………児童手当や生活保護、障がい者支援に対する給付など
 普通建設事業費……………道路や公共施設の整備費用(いわゆる「公共事業費」)
 物件費……………臨時職員の賃金、光熱水費、各種委託料など
 維持補修費……………公共施設の修繕や道路除雪費など
 補助費等……………各種団体に対する補助金や負担金など
 繰出金……………特別会計の運営に対する一般会計からの支出金など

● 一般会計歳出(目的別)の内訳



歳出総額 184 億2,497 万円
 [市民一人当たり 73 万円]

● 一般会計歳出(性質別)の内訳



● 特別会計の決算状況

会 計 名	歳入決算額	対前年比	歳出決算額	対前年比	実質単年度収支
国民健康保険特別会計	32億9,166万円	7.9%	32億1,716万円	10.3%	△1億465万円
後期高齢者医療特別会計	3億6,177万円	1.1%	3億6,082万円	2.9%	△636万円
介護保険特別会計	30億7,996万円	2.2%	29億7,694万円	2.6%	△954万円
簡易水道事業特別会計	2億1,844万円	△ 26.3%	2億1,788万円	△ 25.8%	△211万円
公共下水道事業特別会計	9億8,216万円	△ 1.1%	9億7,851万円	△ 0.4%	△682万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億7,107万円	△ 0.5%	1億6,898万円	△ 0.6%	6万円
農村下水道事業特別会計	3億1,136万円	△ 2.1%	3億 632万円	△ 2.1%	△7万円
個別排水処理施設事業特別会計	1,752万円	△ 4.5%	1,650万円	△ 4.5%	△6万円
下水道汚泥処理事業特別会計	1億5,660万円	3.2%	1億5,659万円	3.2%	1万円
駐車場事業特別会計	586万円	△ 31.9%	409万円	△ 47.6%	98万円
情報施設特別会計	1億 642万円	△ 14.9%	8,570万円	△ 26.0%	440万円
給食費特別会計	3,679万円	△ 6.0%	3,635万円	△ 6.3%	11万円
計	87億3,960万円	2.3%	85億2,583万円	3.3%	△1億2,408万円

● 企業会計の決算状況

会 計 名	歳入決算額	対前年比	歳出決算額	対前年比	歳入歳出差引
水道事業会計（収益的収支）	3億1,047万円	△ 2.0%	2億1,552万円	△ 2.2%	9,496万円
水道事業会計（資本的収支）	1,169万円	△ 25.4%	1億2,256万円	0.4%	△1億1,087万円
国民健康保険病院事業会計（収益的収支）	16億8,832万円	△ 1.7%	17億1,341万円	△ 2.7%	△2,509万円
国民健康保険病院事業会計（資本的収支）	1億3,918万円	227.8%	2億1,431万円	94.5%	△7,513万円
計	21億4,966万円	2.8%	22億6,580万円	2.4%	△1億1,614万円

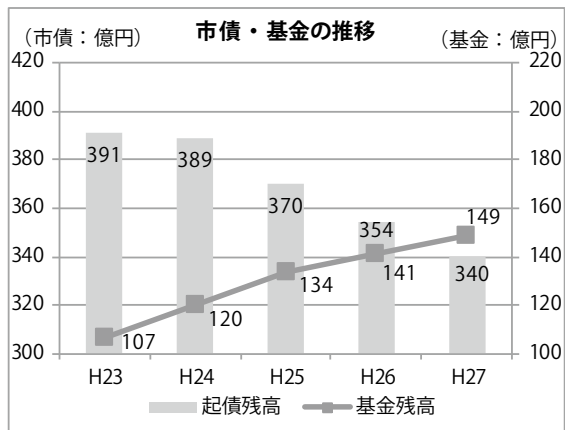
*表示単位で四捨五入しているため、合計、差引が一致しない場合があります。

● 市債・基金年度末残高の推移

区分	市債残高(H27末)	区分	基金残高(H27末)
一般会計	210億7,668万円	積立基金	145億2,274万円
特別・企業会計	129億2,206万円	運用基金	4億 647万円
合計	339億9,874万円	合計	149億2,921万円

● 財政健全化判断比率の状況

財政指標名	H27年度	H26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—%	—%	13.10%	20.00%
連結実質赤字比率	—%	—%	18.10%	30.00%
実質公債費比率	12.7%	12.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—%	2.1%	350.0%	—%



【用語の説明】

特別会計…………… 特定の事業を行うため、一般会計とは別に設置される会計
企業会計…………… 地方公営企業法の適用を受け、営利的事業を行う会計
実質収支…………… 歳入歳出の差引額から翌年度に繰り越す一般財源を除いた額
実質単年度収支…………… 当年度の実質収支から前年度の実質収支を除き、基金の積み立てや取り崩し等を加減した額（実質的な収支を表す指標）
収益的収支…………… 企業会計における日々の営業活動に関する経費とその財源
資本的収支…………… 企業会計における施設・設備を整備するための経費とその財源
市債…………… 建設事業等の財源となる長期の借入金（借金）
基金…………… 特定の目的のために積み立てられた資金など（貯金）
標準財政規模…………… 標準的に収入される一般財源の規模
実質赤字比率…………… 普通会計の赤字額が標準財政規模に占める割合
連結実質赤字比率…………… 全会計の赤字額が標準財政規模に占める割合
実質公債費比率…………… 公債費(市債の返済)等が標準財政規模に占める割合
将来負担比率…………… 将来負担すべき負債(市債等)が標準財政規模に占める割合
早期健全化基準…………… 国が定める財政健全度の注意水準（イエローカード）
財政再生基準…………… 国が定める財政健全度の危険水準（レッドカード）

団体区分	会計区分	統計区分	財政指標の対象範囲			
飛騨市	一般会計	普通会計	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	特別会計	公営事業会計				
	うち公営企業会計	会計				
古川国府給食センター利用組合						
飛騨市土地開発公社など						

●主要施策の実績

平成27年度に実施した主な施策とその決算額について、歳出目的別に報告します。

■総務費

- ▽ふるさと納税返礼品…5千856万円
- ▽土地開発基金廃止に伴う財政調整基金積立金…4億円
- ▽指定管理施設抜本的改革事業…4千794万円
- ▽統合第三セクター出資金…2億円
- ▽地域資源の活用による持続可能な地域づくり推進事業…3千915万円
- ▽ノーベル物理学賞受賞記念事業…778万円
- ▽デジタル防災行政無線整備事業…1億276万円
- ▽消費喚起・生活支援事業（プレミアム商品券発行事業ほか）…6千979万円
- ▽地方創生事業（まちなか観光案内所社会実験事業ほか）…6千281万円



▲ノーベル物理学賞受賞記念式典

■民生費

- ▽高齢者福祉施設整備補助金…7千678万円
- ▽臨時福祉給付金事業…3千635万円
- ▽入園・入学祝い金交付事業…6千134万円
- 衛生費
- ▽不妊・不育治療助成事業…602万円
- ▽特定外来植物除去事業…353万円
- ▽旧清掃施設解体事業…1億6千613万円



▲特定外来植物除去作業

■農林水産業費

- ▽畜産担い手育成総合整備事業…6千647万円
- ▽機構集積協力金事業…1千186万円
- ▽清流の国ぎふ森林環境基金事業（里山林整備事業）…630万円
- ▽土地改良事業…5千63万円
- ▽林道整備事業…7千962万円

■商工費

- ▽商店イメージアップリニューアル補助金…1千6万円
- ▽希少伝統産業技術後継者育成奨励金…230万円
- ▽池ヶ原湿原遊歩道新設測量設計業務…464万円
- ▽観光施設改修工事…8千678万円
- ▽観光施設撤去工事…3千428万円



▲池ヶ原湿原

■土木費

- ▽市道除雪委託料…1億4千549万円
- ▽社会資本整備総合交付金事業（道路）…2億702万円
- ▽道整備交付金事業…1億3千619万円
- ▽社会資本整備総合交付金事業（橋梁）…7千297万円
- ▽都市再生整備計画事業（宮川振興事務所・宮川町公民館複合施設建設事業ほか）…3億5千702万円

▽住宅・建築物安全ストック形成事業（神岡振興事務所耐震改修事業ほか）…3億3千729万円



▲宮川振興事務所・宮川町公民館

■消防費

- ▽救助資器材運搬車購入…1千604万円
- ▽小型ポンプ積載車・小型動力ポンプ購入…2千57万円

■教育費

- ▽スクールバス購入…2千443万円
- ▽集会施設整備事業補助金（コミュニティ助成金含む）…2千609万円
- ▽新神岡図書館備品整備…4千962万円

■災害復旧費

- ▽農林水産業施設災害復旧費…2億2千359万円
- ▽公共土木施設災害復旧費…2億6千378万円
- ▽公営住宅ストック総合改善事業…1千718万円

●監査意見総括

財政指標をみると、ほぼ健全な状態を維持している。しかし、補助金や地方交付税の抑制等により弾力性が失われることが懸念される。

自主財源の確保に努め、「元気で、あきな、誇りのもてる ふるさと飛騨市」が実感できるまちづくりと、健全かつ公正な財政運営に一層努力されることを期待する。



意見書を都竹市長へ提出する
福田幸博代表監査委員と森下真次議会議長と監査委員

